

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年11月7日版)

平成23年11月7日  
野菜需給部

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	10月の価格動向				生育及び価格の11月の見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額					
	上旬	中旬	下旬				
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	100	82	66	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 12,398t (109)</li> <li>主産地: 千葉(40)、愛知(25)、茨城(14)、東京(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉産、愛知産ともに、順調な生育で本格的な出荷の開始となり、平年並みの出荷の見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		93.59	108	89	71	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 3,400t (111)</li> <li>主産地: 愛知(49)、茨城(19)、熊本(6)</li> </ul>	
	ねぎ (関東:白ねぎ、 関西:青ねぎ)	218.22	262	201	169	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込数量: 5,520t (102)</li> <li>主産地: 新潟(16)、青森(15)、秋田(11)、埼玉(9)、千葉(8)、茨城(8)、輸入(6)、群馬(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟産は、順調な生育、出荷となっており、中旬までは潤沢な出荷となる見込み。青森産も、順調な出荷で平年並みの出荷となる見込み。</li> <li>潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年をやや下回って推移する見込み。</li> </ul>
		444.77	442	293	246	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込数量: 200t (105)</li> <li>主産地: 徳島(21)、大阪(20)、高知(17)、香川(15)、奈良(12)、三重(6)</li> </ul>	
	はくさい	54.1	162	107	49	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 13,555t (101)</li> <li>主産地: 茨城(84)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、順調な生育、出荷となっており、月後半にピークを迎える見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		69.44	170	107	49	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 5,400t (105)</li> <li>主産地: 茨城(39)、熊本(20)、長野(13)、福岡(7)、大分(7)</li> </ul>	
	ほうれんそう	350.1	850	531	408	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 1,665t (101)</li> <li>主産地: 群馬(44)、茨城(14)、千葉(14)、埼玉(12)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬産は、作柄も良く、出荷量は日々増加傾向となっている。茨城産は、生育が回復し平年並みの出荷となり、中旬にはピークを迎える見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		419.76	874	625	494	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 600t (97)</li> <li>主産地: 岐阜(32)、徳島(31)、福岡(22)</li> </ul>	
	レタス	166.6	203	158	105	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 6,624t (101)</li> <li>主産地: 茨城(65)、兵庫(11)、香川(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、9月の台風等で遅れていた作型の出荷により10月末は平年を上回る出荷となっていたが、今後は平年並みの出荷となる見込み。兵庫産は、9月の台風で生育が1週間程度遅れているが、中旬からは本格的な出荷の開始となり、平年並みの出荷となる見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		160.6	228	159	118	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 1,450t (114)</li> <li>主産地: 兵庫(55)、茨城(22)、徳島(12)、香川(7)</li> </ul>	
果 菜	たまねぎ	76.15	100	99	94	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 10,298t (102)</li> <li>主産地: 北海道(83)、輸入(15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道産は、9月の台風後の断続的な降雨により収穫作業が遅れている。全体の出荷量は前年よりは多いが、平年には届かない見込み。</li> <li>平年より少なめの出荷量が見込まれることから、価格は平年より高めに推移する見込み。</li> </ul>
		76.15	108	105	95	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 3,700t (111)</li> <li>主産地: 北海道(56)、兵庫(38)</li> </ul>	
	きゅうり	262.75	339	255	273	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 4,717t (100)</li> <li>主産地: 埼玉(35)、群馬(17)、宮崎(17)、千葉(9)、茨城(8)、高知(7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉産は、10月下旬の冷え込みの影響で少なめの出荷となっているが、今後は生育が回復し平年並みの出荷となる見込み。群馬産は、少なめの出荷となっている。宮崎産は、中旬から出荷が本格化し、出荷量が徐々に増加する見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、やや高めに推移している価格は平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
		284.72	369	270	270	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 1,000t (99)</li> <li>主産地: 宮崎(55)、高知(14)、大阪(6)、北海道(6)</li> </ul>	
根 菜	トマト	315.83	704	580	351	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 4,834t (104)</li> <li>主産地: 熊本(34)、千葉(20)、愛知(15)、茨城(12)、静岡(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本産は、10月末から本格的な出荷の開始となり、小玉傾向ではあるが平年並みの出荷となる見込み。千葉産は、順調な生育で、平年並みの出荷となる見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		337.88	703	630	372	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 800t (109)</li> <li>主産地: 熊本(42)、愛知(13)、徳島(9)、石川(7)、福岡(7)</li> </ul>	
	なす	316.84	470	295	238	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 2,349t (98)</li> <li>主産地: 高知(59)、福岡(15)、栃木(5)、群馬(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高知産は、安定した出荷となっており、平年並みの出荷となる見込み。福岡産も、作柄が良好で平年並みの出荷の見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、平年を下回っている価格は平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
		277.06	454	295	208	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 450t (106)</li> <li>主産地: 高知(37)、福岡(16)、熊本(16)、岡山(14)、群馬(6)</li> </ul>	
	ピーマン	263.58	354	394	240	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 1,687t (102)</li> <li>主産地: 茨城(58)、宮崎(15)、高知(13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、10月下旬に出荷のピークを迎える多めの出荷量となっていたが、11月は安定した出荷量となる見込み。宮崎産は、順調な生育となり、平年並みの出荷となる見込み。</li> <li>安定した出荷量が見込まれることから、平年を下回っている価格は平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
		282.16	429	434	313	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 300t (99)</li> <li>主産地: 宮崎(53)、高知(22)、鹿児島(11)</li> </ul>	
	だいこん にんじん	64.33	153	89	66	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 12,227t (103)</li> <li>主産地: 千葉(61)、神奈川(13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉産は、順調な生育で平年並みの出荷の見込み。神奈川産も、11月から出荷が開始となり、10月の降雨の影響で若干の遅れがみられるものの、概ね順調で平年並みの出荷の見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		76.48	159	105	88	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 3,500t (99)</li> <li>主産地: 長崎(17)、和歌山(13)、徳島(12)、鹿児島(10)、石川(8)、千葉(7)</li> </ul>	
		129.56	147	149	109	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 7,092t (101)</li> <li>主産地: 千葉(43)、北海道(31)、輸入(4)</li> </ul>	
		129.59	149	153	115	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 2,500t (96)</li> <li>主産地: 長崎(41)、北海道(40)、鳥取(8)</li> </ul>	

種類		10月の価格動向			生育及び価格の11月の見通し					
		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額							
			上旬	中旬	下旬					
いも	さといも	200.88	257	238	217	・入荷見込量：1,268t (106) ・主産地：埼玉(46)、千葉(15)、栃木(5)、輸入(5)	・埼玉産は、肥大が進み、平年並みの出荷となる見込み。千葉産も、9月の降雨により肥大が進み、平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。			
		207.2	259	250	243	・入荷見込量：272t ・主産地：愛媛(32)、宮崎(49)				
	ばれいしょ	88.17	123	121	118	・入荷見込量：7,094t (100) ・主産地：北海道(98)	・北海道産は、収穫作業が終了。少なかった前年よりは多いが、平年には届かない見込み。今後は、貯蔵腐敗が懸念される。 ・平年より少なめの出荷量が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。			
		88.17	113	110	102	・入荷見込量：4,100t (100) ・主産地：北海道(90)、長崎(7)				

1) 平均価格は、過去9年間又は6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。  
2) 旬別平均販売価額の背景なしは、保証基準額を上回るもの。背景ありは、下回るもの(消費税は除く。)。  
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。さといもの近畿は前年実績。  
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

## 2 野菜の需要動向

家計調査でみると、9月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,598gで前年比100%、購入金額は、1,803円で同99%となり、購入量、購入金額ともにほぼ前年並みとなった。	生鮮野菜の購入量及び金額 (1人当たりの購入量、金額)						主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移 (単位:円/kg)	
	年	過去5か年平均	平成22年	平成23年	(1人当たりの購入量、金額)			
月	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	105	1,820	93
6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	98	1,857	97
7月	4,438	1,683	4,264	1,697	4,362	102	1,759	104
8月	4,272	1,732	4,241	1,733	4,392	104	1,717	99
9月	4,868	1,806	4,606	1,818	4,598	100	1,803	99
10月	5,314	1,849	4,994	1,959	0	0	0	0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774	0	0	0	0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887	0	0	0	0

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

1) 過去5か年は平成18~22年の平均

2) 10月の値は、10月中旬の速報値

資料:総務省統計局「小売物価統計調査報告」

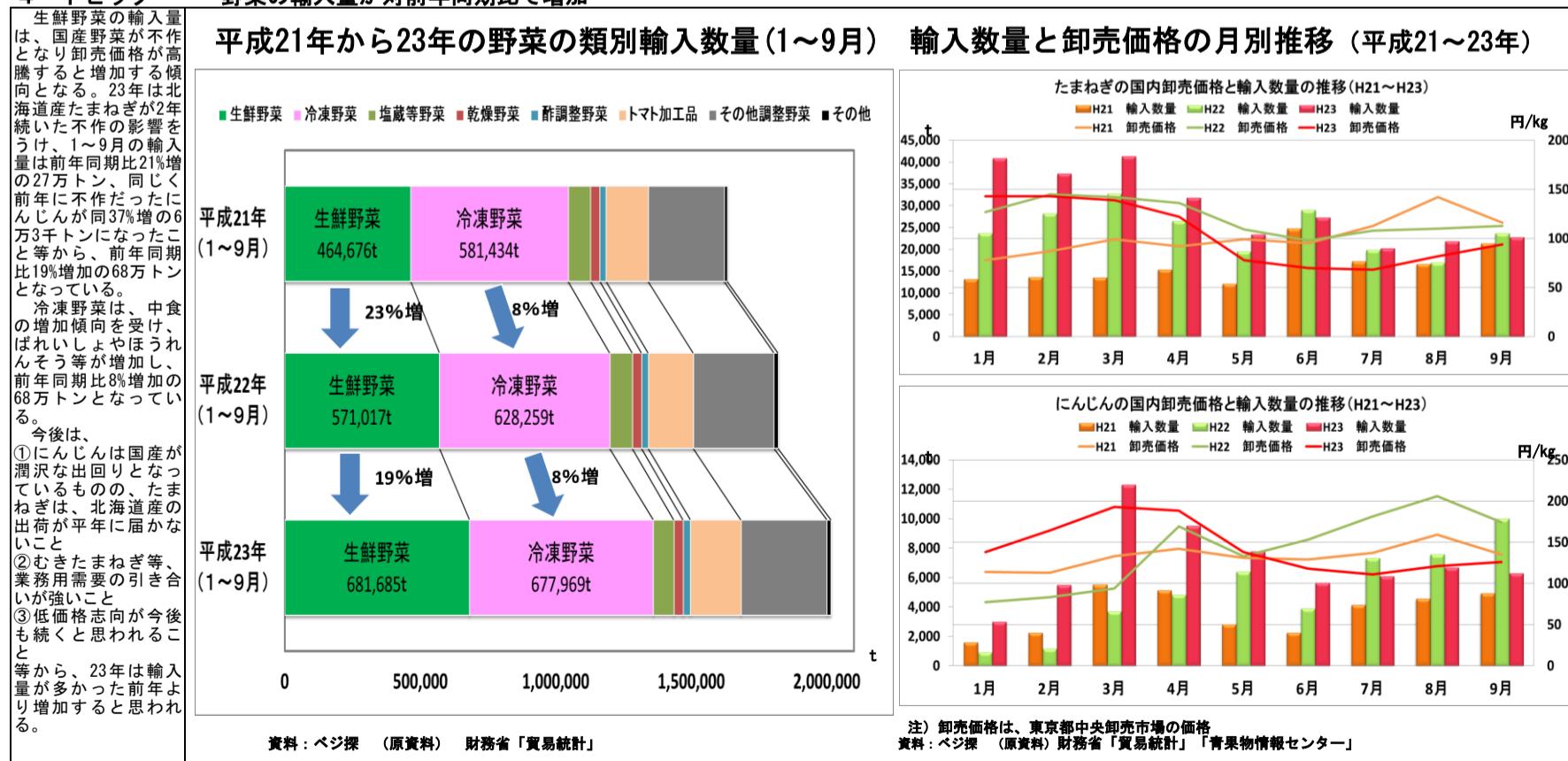
## 3 野菜の輸入動向

平成23年9月までの輸入量を貿易統計でみると、生鮮野菜は前年比119%の68万トン、加工野菜は同じ111%の201万トンとなつた。	野菜の輸入数量の推移 (単位:トン、%)					主な野菜の輸入動向 (単位:トン、%)	
	区分	平成21年	平成22年	平成23年1~9月	平成23年9月		
月	前年比	前年比	前年同期比	前年同月比	品目	輸入先	(A)2010.9 (B)2011.9 (B)/(A)
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	681,685	119	94
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	1,332,823	107	107
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	2,014,509	111	103
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	1,023,783	112	100
中国産シェア	50	51	51	51			

資料:ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

資料:農林水産省「植物防疫統計」。(2011.9)は、9月末日までの速報値である。

## 4 トピック 一 野菜の輸入量が対前年同期比で増加



資料:ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

注) 卸売価格は、東京都中央卸売市場の価格

資料:ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」「青果物情報センター」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 [http://www.alic.go.jp/v-suishin/vaiukyu01\\_000076.html](http://www.alic.go.jp/v-suishin/vaiukyu01_000076.html)